

# 新しい年！たたかいはねばり強く！

今年もよろしくお願ひします。

茨城県平和委員会・代表理事一同



## 新年の抱負

## 若い世代に寄り添い、共同の輪で

花山 知宏 (笠間市)

平和を脅かす法律が、暴走する安倍政権により作られた昨年。この間、秘密保護法反対の宣伝や東海第二原発の廃炉を求める宣伝を行ってきましたが、市民との対話の中では、これまでになく政治への関心も高く、世論を全く無視した安倍政権への国民の怒りの大きさをひしひしと感じます。特に若い世代の将来への不安は大きく、「戦争をする国は嫌だ」と署名に応じる子、学校の友達にも配りたいと行ってチラシを持って帰る子、など今までは見られなかったような若い世代の反応がありました。こうした市民の動きに寄り添い、一緒にたたかっていく、今年はそんな運動を続けていきたいと思っています。

また全国でもそうですが、茨城でも党派を超えた共同の輪が広がりました。暴走を止めるためには、広くつながって

いかなければ勝てません。これまでになかったような連帯も必要と思います。自分(組織)の中で勝手に壁を作らず、一点共闘の重なりで、日本を平和の道に戻しましょう！

最近の宣伝&デモは、楽しく、分かりやすく、人の目を引くものなど全国的に工夫されています。先の秘密保護法宣伝でも人形劇やフラッシュモブ(プラカードを持って数分間ポーズ)などのパフォーマンスを行いました。自らも楽しむことで、市民が入りやすい運動になります。様々な方法を模索しつつ、広く市民とつながり、安倍政権の暴走に打ち勝つ力にしましょう！今年もよろしくお願ひいたします！



## 新春随想

## 平和と民主主義を必ず次世代へ

桜井 恵子 (水戸市)

先日、実家の母から「〇〇(私の娘)から、10年前に書いたという手紙が届いたよ」と嬉しそうに見せられました。見ると、確かに娘の字。20代前半で、最初の職場を辞め、定職に就けないでいるときです。宛名には母の名前と並んで今は亡き父の名前も書いてありました。大好きな祖父母へ宛てて、10年後を想像しながら書いたのでしょう。祖父母を思いやった素直な思いと自分の将来が見えてない状況が少しだけ綴られてありました。(これは犬山市の明治村に行ったときに書いたとのこと)

この10年を思うと、働きたくても仕事がない、非正規労働で使い捨てされ、経済的に自立できず結婚もできない、人生の設計図が描けず、自分の存在すら肯定できなくなるなど、

若者が生きづらく、大事にされない政治が続いています。娘も例外なくその渦中で生きています。

今、安倍政権は戦争のできる国へと歩み始めていますが、大変恐ろしいことです。特に若い世代への影響は計り知れません。秘密保護法の中身が分からないと言う母(88歳)に、「戦時中の治安維持法のようなものだよ」と言ったら、「それは、駄目だわ!」と語気を強めて言葉を返して来ました。母たちの世代の大きな犠牲の上に築き上げられた、平和と民主主義を揺るぎないものとして、必ず次の世代に受け渡していきましょう。

私たちが、社会変革の可能性を見通しながら、働くことも生きることも喜びにつなげて生きて来られたように、若い世代や子どもたちにも、将来に夢の描ける生き方をして欲しいから。

## 平和地主の「申込み方法」を再検討中

平和地主の取り組みについては、12月5日(623)号で「申込み書類一式をセットにして地域の平和の会・委員会の送付する」とお知らせしました。しかし検討を重ねた結果、「手続きを簡単にする」ため、申込み方法が大幅に変更することになりました。それは

- ① 賛同者の、「氏名」「住所」「電話番号」だけを確認し、事務局に連絡する。
- ② 具体的な手続きは、司法書士(平和委員会会員)が、賛同者に直接連絡して行う。

という、より簡単な方法です。話を詰めて年明けの1月中旬頃から、新たな方法で募集します。この間に賛同者をさらに増やしていただき、申し込みについてはもう少しお待ち下さい。

## 第4回・常任理事会を開催の案内

とき 2014年1月6日(月) 午後1時～

ところ 県平和委員会事務室

内容 秋から年末の取り組みの総括  
大会までの取り組みの討議・確認  
名護市長選の支援



歓迎！新入会員のみなさんです。

よろしくお願ひします。

.....

- 島田 君江 さん (笠間市)
- 田中 義章 さん (常陸太田市)
- 今田 忠彦 さん (阿見町)

\*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

## 平和新聞

2013年12月25日・2014年1月5日 新年号  
2036号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

## 平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 674 新年号  
2013.12/25-2014/1/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 稲嶺勝利で辺野古移設NO!

## 名護市長選支援の声を届けよう!!

沖縄名護市市長選は、1月12日告示、1月19日投票です。名護市民・沖縄県民の総意を代表するのが、「辺野古の海にも陸にも基地を作らせない」と訴え続けている、稲嶺ススム市長です。

96年のSACO（沖縄に関する日米特別行動委）合意を受けた、米海兵隊普天間基地を名護市辺野古への「移設」計画は、住民の粘り強いたたかいで手が出せません。

日米政府は、沖縄の仲井眞知事に「埋め立て申請を承認」させ、同時に「名護市長選で新基地推進派が勝利しなければ、辺野古移設はいよいよ厳しくなる」として、なりふりかまわない動きをしています。

石破自民党幹事長が11月15日に沖縄県選出の自民党国会議員5人に離党勧告を突きつけて「県外移設」の公約を撤回させ、これを受けた自民党沖縄県連も「県外移設」を撤回し、仲井眞知事にも方針転換を求めました。また政府は、来年度予算案でも県側の要望に上積みする3460億円を計上するなど、「金で頬をたたく」えげつないやり方をしています。

稲嶺市長は、12月16日に開催された「励ます集い」で、「市長選勝利で新基地問題に決着をつけることができる。名護、沖縄だけの問題ではありません。世界が注目し、日本のあり方まで問われる選挙です」と訴えました。選挙戦は、新基地強行へ総力で襲いかかる日米両政府と、市民・県民との対決の様相になっています。

## 非核平和都市宣言採択! 城里町

以下に城里町で採択された決議を紹介します。

.....

### 非核平和都市宣言に関する決議

私たちは、平和で安心な暮らしがいつまでも続くことを心から願っています。

健康で住みよい町を築くには、日本の平和と共に、世界が平和であることが大切です。

この切なる願いにも関わらず、平和に対する核兵器の脅威か

## 秘密保護法廃止をめざして

### たたかう!

「秘密法ネット」

記者会見



「秘密保護法案をつくらせないネットワークいばらき」は、12月9日、拡大事務局会議を開催し、「秘密保護法の廃止をめざすネットワーク茨城」として、新たにスタートしました。略称は「秘密法ネット」を継続します。

代表委員5人は、12月17日（火）、県庁記者クラブで記者会見を行い、「秘密保護法廃止」運動をさらに強固に進める意志を、それぞれの委員が改めて表明しました。

当面の活動として、12月24日（火）、全県一斉の早朝駅頭宣伝活動を行うことを皮切りに、各地域と連帯し宣伝活動を進めます。さらに、

○県内の各地域で、「秘密保護法」の危険性を学習し、反対の運動を進める。

○「秘密保護法廃止」署名にとりくみ、衆・参両議院に提出する。

○地方議会への「請願」・「陳情」にとりくむ。

○1月に東京での開催が予定されている「秘密保護法」抗議集会に参加し、全国の人たちと連帯した取り組みを強化する、などを提起しました。

翌日には、「東京」、「朝日」、「茨城」、「毎日」、「赤旗」の各紙が記事に取り上げました。

ら、人類は今なお自由ではありません。

さらに、今なお世界各地では、武力紛争が絶えず、多くの核兵器が存在しています。

一瞬にして尊い命を奪い、財産を灰にしてしまったあの悲惨な戦争を、いかなる理由があろうとも繰り返してはならない。

城里町においては、日本国憲法の恒久平和の理念に基づき、核兵器の廃絶と人類永遠の平和を要求し、ここに「非核平和都市」となることを宣言する。

以上、決議する。

平成25年12月13日 城里町町議会

**追悼** 去る9月8日に逝去された、古河・総和平和の会・井上忍さんへの追悼文を寄せていただきました。

## 井上 忍さんを悼む



奈良 達雄

井上忍さんは、古河の平和運動になくはならない人でした。6・9行動では、いつも率先して行動に立ちました。マイクを執ると、その時々的情勢を分かり易く説きながら、核兵器廃絶の課題と結びつけて訴え、参加した人の学習の力になるものでした。

戦争体験のシンポジウム、伊藤千尋さんや小森陽一さんを招いての後援会「古河市9条の会」が、「坂東9条の会」「9条の会五霞」「境9条の会準備会」と力を合わせて成功させた、「さよなら原発古河猿島地区大集会」などの成功に大きな指導性を発揮されました。

「古河市9条の会」が取り組んだ「無言館」へのバス旅行や、今年の「原水爆禁止国民大行進・古河-常総コース」の総指揮者として、見事な統率力を示しました。

井上さんはまた器用な人で、集会に使う看板や宣伝カーの装飾など、本職顔負けに仕上げたものでした。どれだけ経費が浮いたかわかりません。

井上さんには、もっともっと大事な役割を発揮してもらいたかった、活躍してもらいたかったのにと、残念でなりません。理論的な指導者、大黒柱を失って、古河市の平和運動は計り知れない痛手を受けています。残されたわたしたちが、井上さんの分も頑張らねばならないと決意を新たにしているところです。  
(古河市9条の会代表世話人)

## 「非核平和都市宣言」

### の採択を陳情しました!

県内で「非核平和都市宣言」を採択していないのは、古河市 行方市 桜川市 城里町 利根町の3市2町です。県平和委員会は、地域の平和委員会と連携し、12月議会に陳情書を提出しました。

桜川市は、市民の運動を進め、3月議会に請願することとしました。そこ結果、12月13日に「城里町」において採択されました。